

廃棄するモノを身近に考える
～地域でつながるサイクルマーケット～
令和7年度 市民提案型協働事業

会津を元気にする会

(1) 団体紹介

目的

本会は、東日本大震災からの復興を目的に、会津地域を中心とした福島県全体の活性化を図り、地域住民の生活の質向上に貢献することを目的とします。

主な活動内容

■地域交流の活性化

フリーマーケット、スマホ教室、歴史講座、落語会など、地域住民が集まり、交流できる場を多数開催。

■会津の魅力再発見

会津の良いところを再確認するツアーを通じて、地域への愛着を深める機会を提供。

■地域課題解決

選挙の啓発活動、友活・恋活・婚活の推進、移住定住の推進など、地域が抱える課題解決に取り組んでいます。

■循環型社会の実現

制服の買取販売、ランドセルや学用品の回収など、資源の有効活用を推進。

(2)「公共的課題」に対する団体としての認識

・ごみ問題の現状と課題

深刻なごみ問題：本市のごみ排出量は全国同規模の自治体と比較して非常に多く、特に燃やせるごみの排出量が問題となっています。
(全国同規模の自治体の中でワースト4位)

目標達成の厳しさ：新ごみ焼却施設の処理能力に合わせて、燃やせるごみを大幅に減らさなければならない。(98.2t→82.1トンまで減量)

現状：過去4年間で排出量は減少傾向にあるものの、目標達成にはさらに大きな努力が必要。

・燃やせるごみの内訳を見てみると(令和6年度実績)、「紙・布類」が45.4%と最も多く、次いで「ビニール・プラスチック類」が16.2%となっていた。

・生ごみについては、キエーロやコンポストバック等、会津若松市で取り組んでいる活動が見られたが、ごみ情報紙「へらすべえ」という、会津若松市ごみ情報紙はあるが認知度は低い。

※独自実態アンケート30人に対し 知っている：5名(16.7%) 知らない：22名(73.3%)、未回答4名(13.3)であった。

燃やせるごみ排出量の推移

4月から5月：参考期間

6月から8月：緊急減量期間(周知期間)

9月から11月：緊急減量期間(集計期間)



【燃やせるごみ排出量(トン)】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
令和5年度実績	2,925	3,396	3,251	2,825	2,908	2,688	2,891	2,791
目標値(前年同月比-12%)	2,574	2,988	2,861	2,485	2,565	2,360	2,540	2,456
令和6年度実績	3,396	3,251	2,825	2,908	2,688	2,891	2,791	2,653
目標との差	+692	+119	-107	+446	+229	+220	+191	+138

(2)「公共的課題」に対する団体としての認識

ごみ排出量の削減が必要

- 図1の「1人1日あたりのごみ排出量」によると、令和5年度時点で**1,031g**と、過去5年間で微減傾向にあるものの、大きな削減には至っていない。

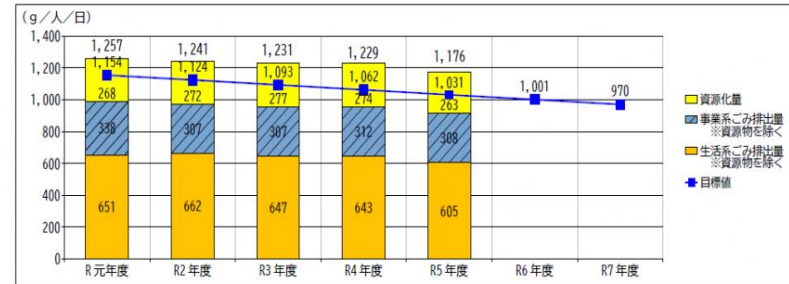


図1 1人1日あたりのごみ排出量

- 令和7年度の目標値（970g）に対し、さらなる削減が求められる。

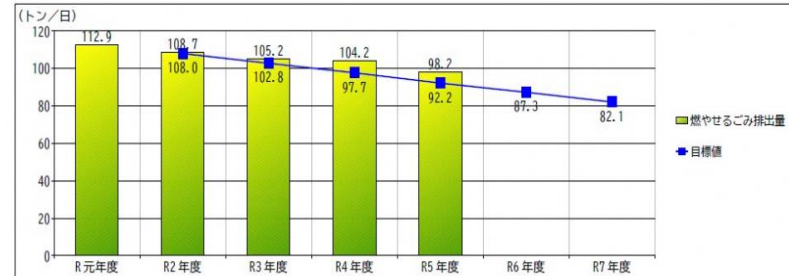


図2 1日あたりの燃やせるごみ排出量

参考文献：会津若松市令和6年12月20日

「資料1」家庭ごみ処理有料化に向けた基本的な考え方

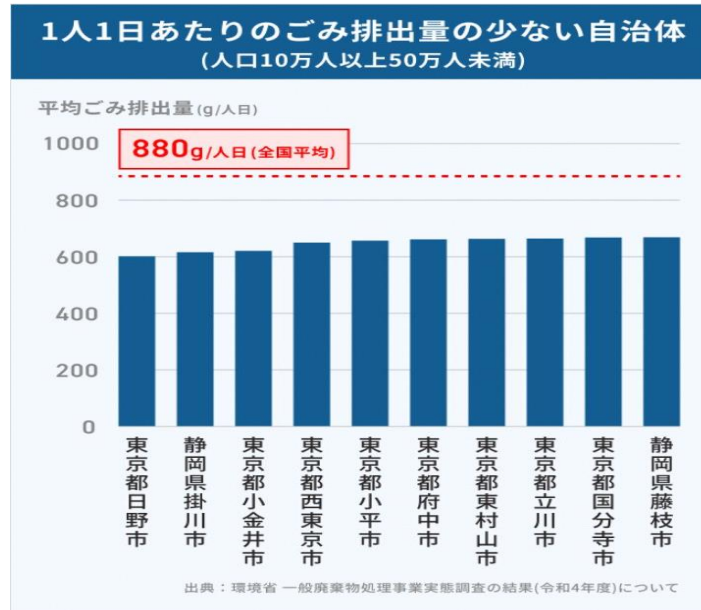
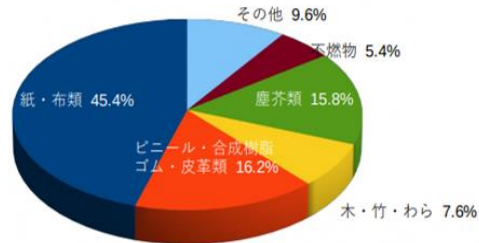
(2)「公共的課題」に対する団体としての認識

本市のごみ排出量は、全国同規模の自治体と比較して非常に多く、全国平均880gに対し令和5年度時点で1,031gと高い数字にある。

燃やせるごみの内訳（令和6年度実績）

紙・布類：45.4%

ビニール・プラスチック類：16.2%



参考文献

一般廃棄物処理事業実態調査の結果(令和4年度)について

<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/2a316fed3cf6aba9f19166b1dd513a4f9c78cdd8>

令和6年度生活系可燃ごみの組成分析結果

<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2024031800031/>

(2)「公共的課題」に対する団体としての認識

会津若松市 ごみ緊急事態宣言

既存のごみ焼却施設は1日当たり225tの焼却能力がある。これに対し、新施設は、1日当たり196tで29t減（約13%減）になるが、目標値として82.1tまで削減しなくてはならなかった。しかし、緊急宣言を出された後の燃やせるゴミ排出量の結果が目標未達であった。

表2 「ごみ緊急事態宣言」の目標

目標	緊急減量の集計期間（令和6年9月～11月）	令和5年度比 12%以上の削減
	最終目標（令和8年3月）	令和5年度比 16.4%以上の削減

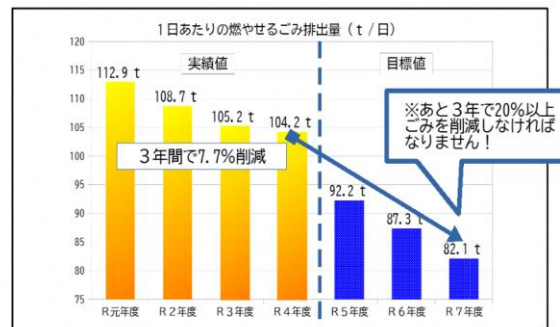
表3 燃やせるごみ排出量の結果（前年比）

月	各月	直近3か月の累計
4	+11.7%	—
5	-8.5%	—
6	-15.3%	-4.7%
7	+1.9%	-7.4%
8	-5.1%	-6.2%
9	-4.8%	-2.6%
10	-6.2%	-5.4%
11	-7.4%	-6.1%

1日あたりの燃やせるごみ排出量

令和4年度の1日あたりの燃やせるごみ排出量は、104.2tでした。目標値82.1tの達成まで、あとの22.1tの減量が必要です。

1日あたりの燃やせるごみ排出量の推移



参考文献：令和4年度ごみ処理状況について

(2)「公共的課題」に対する団体としての認識

ごみ排出量の削減が必要

- 図1の「1人1日当たりのごみ排出量」によると、令和5年度時点で**1,031g**と、過去5年間で微減傾向にあるものの、大きな削減には至っていない。
- 令和7年度の目標値（970g）に対し、さらなる削減が求められる。

燃やせるごみの量が依然として多い

- 「1日あたりの燃やせるごみ排出量」では、令和5年度に**92.2トン**と減少傾向だが、目標値（82.1トン）には未達。
- 主に紙・布類、ビニール・プラスチック類が多く含まれ、資源ごみの分別促進が必要。

分別・リサイクルの徹底不足

- 資源ごみや生ごみの適切な処理が進めば、さらに削減が可能と考えられる。
- 住民の分別意識向上や、リサイクルの仕組みを強化する施策が求められる。

市民の協力と意識改革が不可欠

- 目標達成には、市民一人ひとりの取り組みが重要。
- SNSや啓発活動、講演会等を通じて、市民の意識を高めることが必要。

(3) 目標とする事業の成果・効果

目標値

★回収総数量：※217kg

★SNS（インスタグラム）での活動情報発信数12本以上発信、フォロワー数300人以上

★ジモティスポット運用について、会津若松市での導入可能性調査報告

※算出根拠

1人あたりの目標削減数量60g × 会津若松市の人口11万人 = 6600kg

6600kg / 365日 = 会津若松市全体で、1日辺り18kg削減

本事業では12回作業実施 × 18kg = 217kg（四捨五入）を目標とする。

(4)「目的達成」・「課題解決」の手法(具体的な事業内容)

1. 不用品の買い取り

【団体】環境共生課様・拾い心様・会津を元気にする会

(1) 不用品の買い取り

ごみの中でも特に、燃やせるごみとなってしまう、家具（小型中型に限る）・衣料品・服飾雑貨等、資源としてリサイクルできるものについてはリサイクル・リユースをしながら、ゴミの排出量を減らすことを目指す。

場所については、市が運営する環境共生課様の車庫

（住所:〒965-0858 会津若松市神指町大字南四合字深川西292-2 ）を借りることで、市民が自ら分別し持ち込む仕組み構築し、分別率の向上とリサイクル量の増加を目指す。

○ごみ減量:市民一人ひとりの意識向上と行動変容を促し、ごみ排出量を削減する。

2. 不用品の販売

【団体】拾い心様・会津を元気にする会

○不用品回収と販売を通じて、リサイクル活動を推進する。

各地で開催されているフリーマーケットへ参加する。



(4)「目的達成」・「課題解決」の手法(具体的な事業内容)

3. 講演会

【団体】環境共生様・会津みどりの会様・会津を元気にする会

○ごみ問題への取り組みを地域全体で共有するため、有識者により廃棄するものについて語る会等の講演会を、開催する。



4. SNS

【団体】会津を元気にする会

○不用になった家具や衣類・服飾雑貨等の処分でお困りの市民の方に向けて、写真で相談できるような仕組みを構築し、廃棄以外の選択肢を提案することで、より良い資源循環を目指す。

※SNS（インスタグラム）を活用し、若い世代を含む幅広い層に情報を発信することで、市が抱えるごみの問題の周知拡散を促すとともに、本活動の認知度向上と情報発信の強化により市民への啓発活動を推進する。

主な発信内容

- 市民参加型の分別収集とフリーマーケット活動の実施
- 不用品回収と販売による地域でのリサイクル活動の活性化
- 情報発信の強化（「へらすべえ」の認知度向上、SNS活用）



(4)「目的達成」・「課題解決」の手法(具体的な事業内容)

5. 調査

- ・ 日野市のジモティスポットの等の実例調査を通じて、会津若松市での導入可能性と課題を明確化する。
- ・ ジモティスポット、エコプラザへの訪問調査（視察、日野市役所等へのヒアリング）

関連資料（事業計画書、報告書など）の収集

ジモティスポット日野（住所：〒191-0024 東京都日野市万願寺 6 丁目 5-6 リサイクル事務所 リサイクル事務所内）

エコプラザ 用賀（〒158-0097 東京都世田谷区用賀 4 丁目 7-1 エコプラザ用賀 2 階）



(5) 事業実施にあたっての市との役割分担

5 役割分担

※提案者が担う役割

- ・まだつかえるものの回収の運営（市と合同）
- ・SNSによる発信（月1回）
- ・講演会の開催（年2回）
- ・住民への参加呼びかけ及び、市職員と定期会議の実施。（市と合同）（隔月1回）
- ・フリーマーケットへのイベント出店（年2回）
- ・ジモティスポットの調査（市と合同）

※担当課が担う役割

- ・まだつかえるものの回収の運営（市と合同）
- ・リサイクルコーナー等の場所の選定、確保
- ・講演会の開催（年2回）
- ・市職員と定期会議の開催場所の選定。（市と合同）（隔月1回）
- ・とりまとめられた成果や課題の公表（HP・市政だより）
- ・ジモティスポットの調査（市と合同）



(6)スケジュール

◆継続活動

リサイクルコーナー運営（毎月1回）

SNS情報発信強化（毎月1回）

◆重点活動

7月～9月：ジモティスポット調査・導入検討

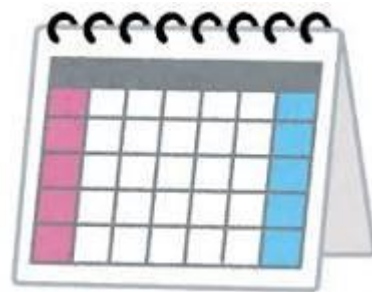
7月：リサイクルコーナー持ち込み促進キャンペーン

8月、12月：ごみ問題に関する講演会・意見交換

9月、12月：フリーマーケット参加

10月～11月：ジモティスポット事業化検討

隔月：環境共生課様との定期打ち合わせ



さいごに

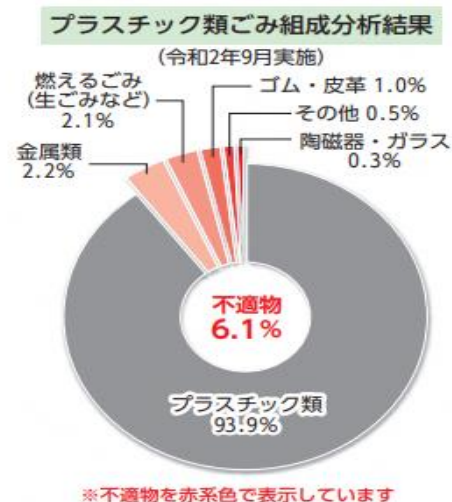
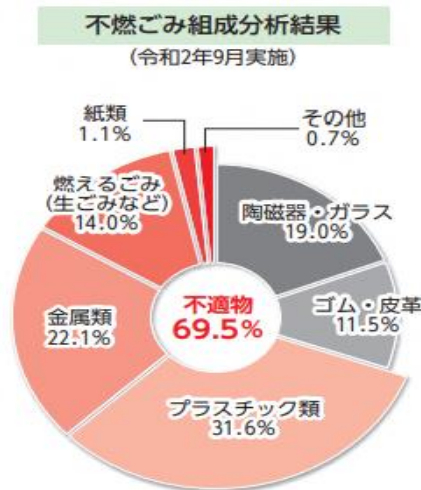
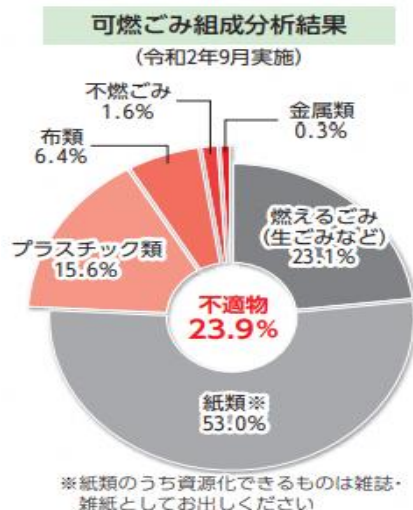
本事業は、単にゴミ問題の解決にとどまらず、市民参加型の取り組みを通じて、地域全体の活性化につながることを期待し、この事業を通じて、会津若松市は今のごみワーストの自治体という状態から脱却した循環型社会の実現に向けたモデル都市となる可能性を秘めていると考えています。



ご清聴ありがとうございました

参考

(参考) 日野市 ごみ組成



日野市の一人一日当たりのごみ排出量は585.6グラムで、人口10万人以上50万人未満の市町村において、2年連続でごみ排出量が全国で最も少ない自治体

参考文献：日野市役所 ID 1010813問 ごみゼロ推進課

https://www.city.hino.lg.jp/_res/projects/default_project/_page/_001/015/925/1201/201201_04-05.pdf

参考

https://drive.google.com/file/d/1tpEZkP7hnoPBGo6VkWhO1ZJeuarW5SxB/view?usp=drive_link